

搬送方法

自力避難困難者については、何らかの方法で安全な場所まで搬送する必要があります。対応できる人員や自力避難困難者等の状態により、最も適した方法を選択してください。

1 背負い

一人の人員で搬送可能ですが、背負われる人の体重と背負う人の体力により相違があります。



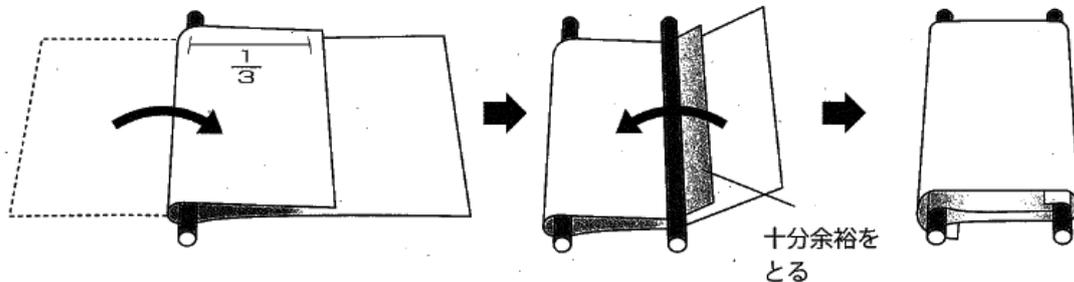
2 抱きかかえ

1人～2人で行う方法があります。

3 担架

2～4人の人員が必要であり、特に階段を下りる場合は、安全性を考慮して最低4人の人員が必要になります。布製のものも有ります。担架がない場合には毛布による応急担架が代用できます。

毛布の1/3のところを棒を置いて、毛布をおり返して作ります。



4 ベッド

平面での移動は早いのですが、階段等の上下は非常に困難です。5～6人の人員が必要になります。

5 マットレス・布団・毛布・シーツ・椅子など

担架がない場合は代用として使用できます。訓練時に活用してみてください。

